

女性活躍応援ファンド（愛称：椿） 年初来の投資環境と当ファンドの運用状況について

2018年11月22日

平素は、『女性活躍応援ファンド（愛称：椿）』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、年初来の投資環境と当ファンドの運用状況についてお知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移》

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当初設定日（2015年3月31日）～2018年11月20日

2018年11月20日現在

基準価額	15,694 円
純資産総額	402億円
TOPIX	1,625.67

期間別騰落率

期間	ファンド	TOPIX
1か月間	-6.2 %	-4.0 %
3か月間	-5.4 %	-3.9 %
6か月間	-12.2 %	-10.4 %
1年間	+5.3 %	-7.6 %
3年間	+77.1 %	+1.4 %
5年間	----	----
年初来	-4.5 %	-10.6 %
設定来	+89.5 %	+5.4 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※TOPIX（東証株価指数）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。

※グラフ上のTOPIXは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《分配の推移》

（1万円当たり、税引前）

決算期（年/月）	分配金
第1期 (15/09)	0円
第2期 (16/03)	0円
第3期 (16/09)	50円
第4期 (17/03)	1,100円
第5期 (17/09)	650円
第6期 (18/03)	800円
第7期 (18/09)	0円

分配金合計額 設定来：2,600円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management



《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
国内株式	147	94.8%
国内株式先物	---	---
コール・ローン、その他		5.2%
合計	147	100.0%

株式 市場・上場別構成		合計94.8%
一部(東証・名証)		69.5%
二部(東証・名証)		2.8%
新興市場他		22.5%
その他		---

組入上位10銘柄			合計28.4%
銘柄名	東証33業種名	比率	
エニグモ	情報・通信業	4.6%	
ディップ	サービス業	3.4%	
GENKY DRUGSTORES	小売業	3.0%	
Z O Z O	小売業	3.0%	
ファンケル	化学	2.8%	
コーセー	化学	2.3%	
M T G	その他製品	2.3%	
ビジョン	情報・通信業	2.3%	
ハーバー研究所	化学	2.3%	
アイスタイル	情報・通信業	2.2%	

※ 2018年10月末時点



運用の現場から

2018年の相場環境を振り返ると、株価が上下に大きく変動し、皆さまにもご心配をおかけした1年であったかと存じます。厳しい投資環境のなかでも、受益者の皆さまには、当ファンドを継続して保有いただき深謝いたします。当ファンドを支持していただいているという実感を持つことができ、運用において大きな励みとなりました。

この1年のファンドの運用では、女性の健康と美容を支える「Beauty & Wellness関連銘柄」に注目をして運用を行なってきました。「Beauty」関連では、日本の化粧品メーカーの商品が、アジア圏を中心に支持層をさらに拡大していることを確認できた1年でした。また、テクノロジーを駆使した美容機器を取り扱う企業が新規上場して注目を浴びるなど、美容関連市場の勢いを感じました。「Wellness」関連では、「人生100年時代」の到来が日本の社会で現実味を帯びるなか、女性の健康に対する取り組みから、面白い銘柄に出会うことが多くありました。

今年も残り1カ月あまりとなり、市場関係者のなかでも、来年の相場や投資テーマなどを議論する時期となりました。外部環境では、米中の貿易摩擦問題の長期化や各国の政治リスクなどには引き続き注視が必要と考えます。日本では、来年夏の参議院選挙や10月の消費税引き上げを控えた景気刺激策への期待感などが株式市場のプラス材料になることが見込まれます。また、政府の進める働き方改革や日本の高齢化の流れ、さらには、2020年の東京五輪に向けて労働需給の逼迫が予想されるなか、女性活躍は継続して注目されるテーマと考えています。

今後も、この魅力溢れるテーマで投資対象銘柄を発掘し、皆さまの資産形成に役立てるように日々運用成績の向上に努めていきたいと思っております。引き続き、当ファンドをご愛顧くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



年初来の投資環境について

米国の長期金利上昇や貿易摩擦問題から値動きの荒い相場展開に

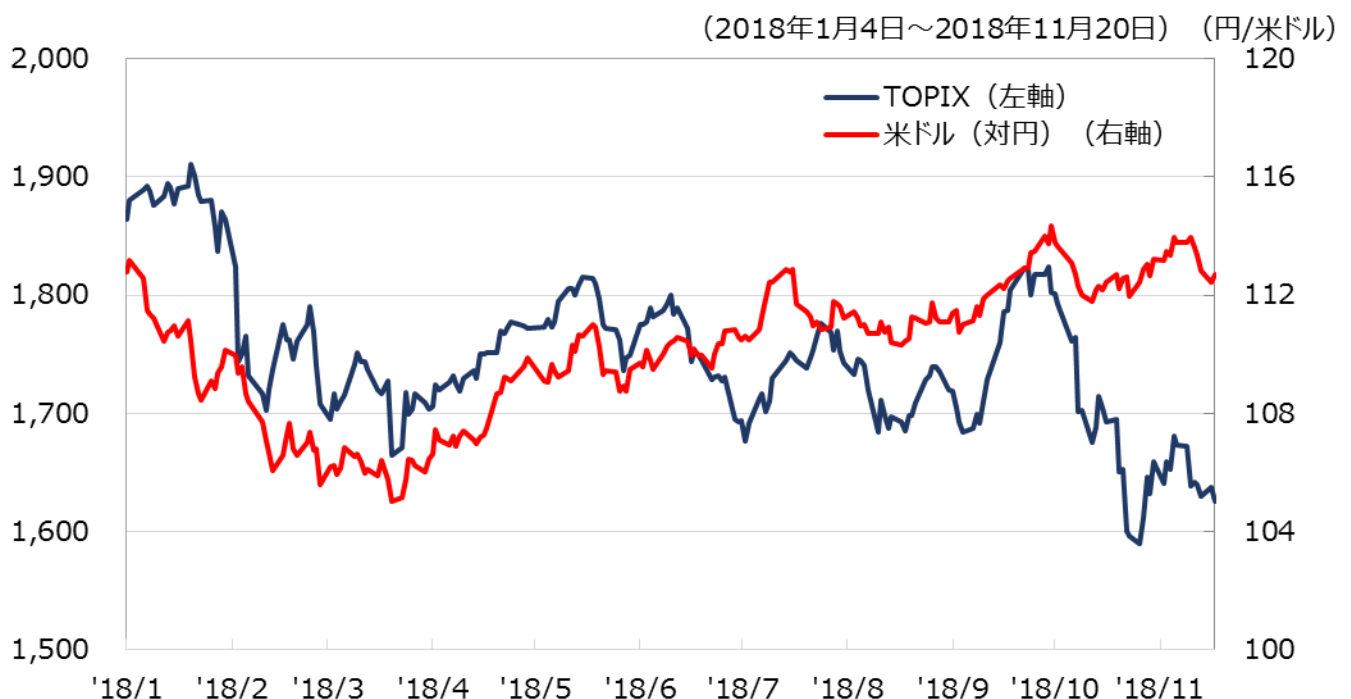
【2018年前半（1月～6月）】米国の長期金利急上昇をきっかけにリスク回避の相場展開

2018年1月の国内株式市場は、米国株高などを受けて上昇して始まりました。2月には、米国長期金利が急上昇したこと、また3月に米国が新たな関税を課す方針を示し貿易摩擦激化への懸念が高まったことにより、株価は下落しました。4月に入ると、米中貿易摩擦懸念の後退や米国金利上昇による円安米ドル高の進行を受け株価は上昇したものの、5月後半以降は、米国が自動車・同部品への関税引き上げを検討しはじめたことや、米国と中国や欧州などとの間において複数の制裁・報復措置が発表され、貿易摩擦激化への懸念が高まったことで、株価は下落しました。

【2018年後半（7月～11月20日）】貿易摩擦問題の激化などから値動きの荒い展開へ

7月上旬には、円安米ドル高の進行が好感されて株価は上昇に転じましたが、8月に入るとトルコ情勢の悪化などから世界的にリスク回避的な動きが強まり軟調な展開となりました。9月半ばからは、米中貿易問題でいったん悪材料出尽くしとの見方が広がったことや、為替市場で円安米ドル高が進行したことなどが好感され、株価は上昇しました。しかし10月に入ると、米国の長期金利が上昇したことに対する懸念や国内外の決算発表において一部の分野で事業環境の悪化がみられたことを嫌気して、株価は下落しました。

TOPIX・為替の推移



(出所) ブルームバーグ

当ファンドの運用状況について

年初来では、内需中小型株が牽引してTOPIXをアウトパフォーム

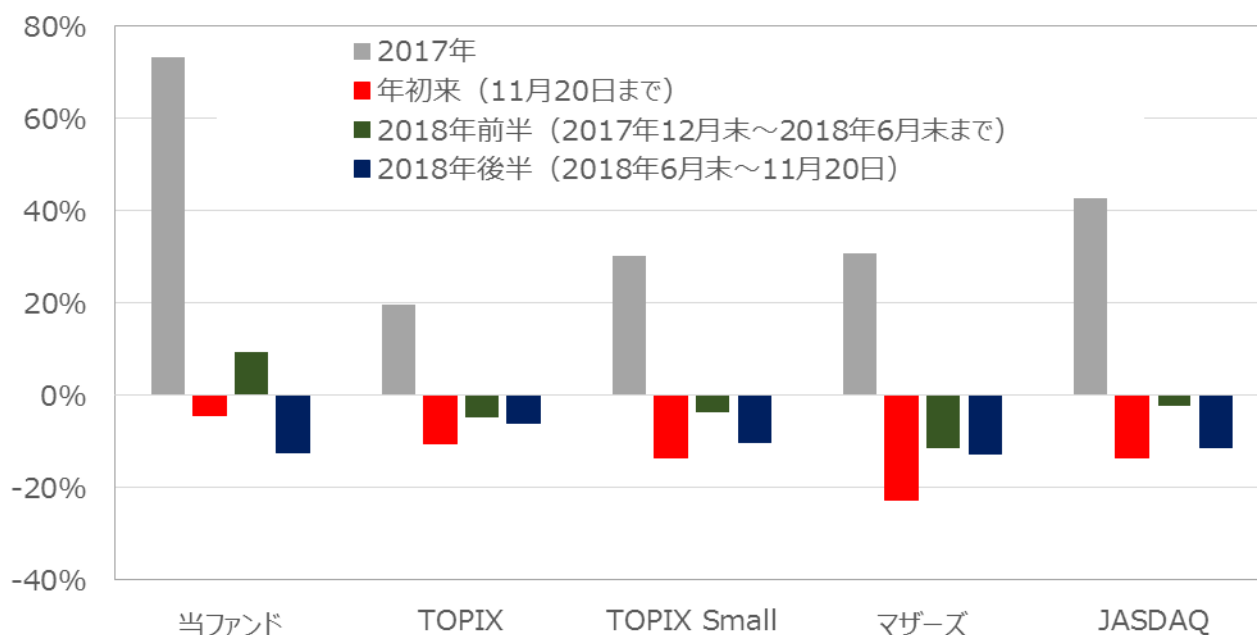
当ファンドの年初来の分配金再投資基準価額（2018年11月20日まで）は4.5%下落し、同期間のTOPIX（東証株価指数）の騰落率（▲10.6%）を上回りました。

当ファンドでは、女性の活躍を応援する企業に投資を行なうという特性上、業種では、サービス業、情報・通信業、小売業などの内需関連セクターのウエートが高くなっています。また、企業の成長性やビジネスモデルの独自性などにも着目しており、特徴のある中小型銘柄のウエートが高くなっています。

年前半は、外部環境の先行き不透明感が強まり、円高米ドル安が進行するなか、業績安定感のある女性消費関連の内需株が選好されたことなどがパフォーマンスにプラスとなりました。

年後半は、大型株が選好される一方、中小型株の調整がつづいたことが、パフォーマンスのマイナス要因となりました。特に10月の中小型株式市場のマイナス幅が大きくなりましたが、足元では、落ち着きを取り戻してきており、当ファンドでも魅力的な銘柄の買い増しなどの対応を取っています。

当ファンドと主要株価指数の騰落率



(出所) ブルームバーグ、大和投資信託

- ※ 各種株価指数は、プライス・リターンを使用（TOPIX・・・東証株価指数、マザーズ・・・東証マザーズ株価指数、JASDAQ・・・JASDAQ INDEX）。
- ※ TOPIX Small、TOPIX ニューインデックスシリーズの詳細については、6ページ目をご参考ください。
- ※ 当ファンドの基準価額は、分配金再投資基準価額を使用。
- ※ 実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※ 過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。



今後の見通しと運用方針について

今後の市場見通し

国内株式市場は、短期的には米中貿易摩擦問題の動向など外部環境の影響を受けやすい展開が続くと想定しています。しかしながら、最近の大幅下落の局面では、中長期での成長が期待される銘柄や、好調な業績の継続が見込まれる企業なども急落しており、足元の下落は売られ過ぎの状況にあると考えます。また、日銀のETF（上場投資信託）買い入れなどにより良好な需給環境の継続が想定されることなどから、貿易摩擦による過度な懸念が後退すれば、底堅い世界景気や企業業績が改めて見直されることで、株式市場は次第に上昇基調を取り戻すと考えています。

今後の運用方針

当ファンドでは、「女性の活躍」を日本株の成長テーマと考えており、特に女性の消費に着目して投資を行なうことが日本の勝ち組企業への投資につながると考えています。運用に関しては、外部環境に左右されにくく、人手不足のような構造的要因により成長が期待される企業、独自のビジネスモデルなどにより成長が期待される企業、バリュエーションが割安で業績が好調な企業などを中心に投資を行なってまいります。

個別銘柄では、中長期的に成長が期待される銘柄、働き方改革で業績拡大が期待される人材関連銘柄、インバウンド需要や女性の社会進出で需要が高まると予想される化粧品などの美容関連銘柄、女性の健康と美容を支えるBeauty & Wellness関連銘柄に注目して投資していく方針です。

今後も、上記の見通しのもと、長期的に超過収益の獲得をめざしてまいりますので、引き続き、当ファンドをご愛顧くださいますようよろしくお願い申し上げます。

(以上)

当資料で使用した指数について

- 東証株価指数（TOPIX）、東証マザーズ株価指数、JASDAQ INDEX、TOPIXニューインデックスシリーズは株式会社東京証券取引所が算出公表などの権利を有する指数です。
- TOPIXニューインデックスは、時価総額、流動性の特に高い30銘柄を「TOPIX Core30」、Core30に次いで、時価総額、流動性の高い70銘柄を「TOPIX Large70」、Large70に次いで時価総額、流動性の高い400銘柄を「TOPIX Mid400」、Core30、Large70、Mid400以外のTOPIX構成銘柄を「TOPIX Small」としています。

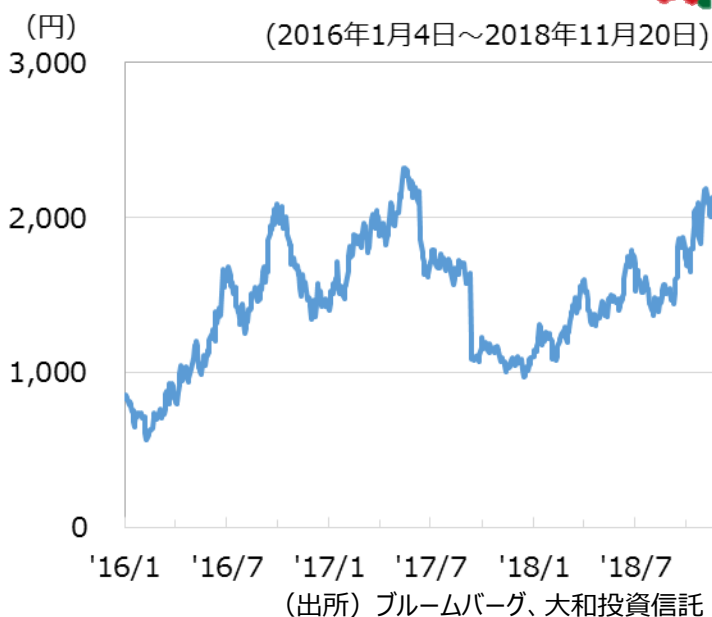
組入銘柄のご紹介

エニグモ

投資のポイント

- ✓ ファッション中心の電子商取引サイト「BUYMA(バイマ)」を運営。海外在住のパーソナルショッパー(出品者)から世界中のアイテムを購入できるソーシャルショッピングサイトに特徴。
- ✓ 出品者の過半数を女性が占める。
- ✓ 海外限定商品が日本で購入できること、ショッピングのEC(電子商取引)化率の向上により中長期的な成長が期待される。

株価の推移

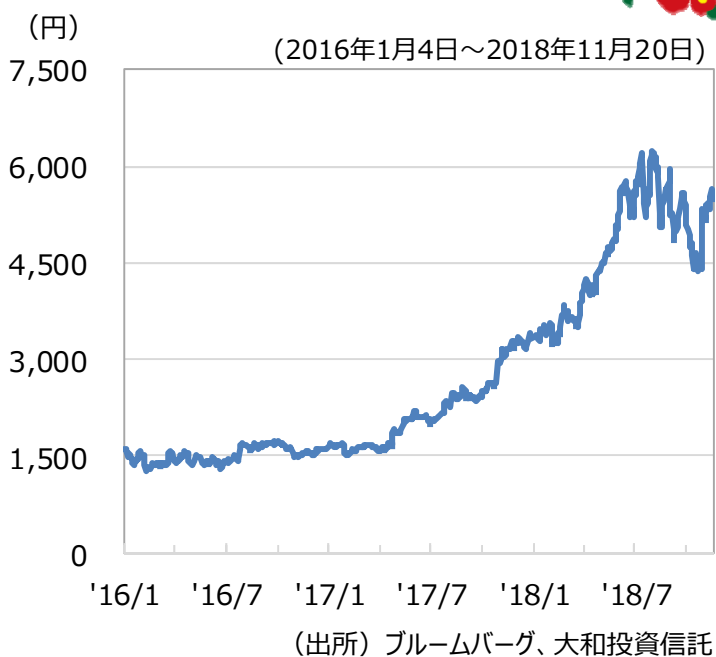


ファンケル

投資のポイント

- ✓ 通信販売メインの無添加化粧品とサプリメントなどが主力。
- ✓ インバウンド需要の増加、広告宣伝におけるインターネット広告の強化で新規顧客獲得の効率化、健康意識の高まりによるサプリメントの需要増加などにより中長期的な業績拡大が期待される。
- ✓ 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」企業に認定されている。

株価の推移



※ 上記の銘柄はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組入れることを保証するものではありません。

※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

女性活躍応援ファンド(愛称:椿)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

わが国の株式の中から、女性の活躍により成長することが期待される企業に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 「女性の活躍」に着目して投資候補銘柄を選定します。



2. 徹底したリサーチにより投資魅力の高い銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄の中から、徹底したボトムアップ・アプローチを重視した個別企業の分析および投資環境の分析を行ない、投資魅力の高い銘柄を選定します。
 - 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行ないます。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは「女性活躍応援マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

女性活躍応援ファンド(愛称:椿)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動(価格変動リスク、信用リスク)」、「中小型株式への投資リスク」、「特定の業種への投資リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)2.16%(税抜2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.566% (税抜 1.45%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

女性活躍応援ファンド（愛称：椿） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
アイオー信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第230号				
足立成和信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第144号				
飯田信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第252号				
いちい信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第25号				
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○	○		
大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第45号				
大阪シティ信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第47号	○			
株式会社関西アーバン銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第16号	○	○		
北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第34号				
京都京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第54号				
株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○			
桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号				
呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号				
興能信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第19号				
埼玉縣信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第202号	○			
さがみ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第191号				
さわやか信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第173号	○			
株式会社静岡中央銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第15号	○			
しののめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号				
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○		
諏訪信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第255号				
瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	○			
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○			
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第5号	○			
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第8号	○			
栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第224号				
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○			
長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○			
西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第58号				
西中国信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第29号				
のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○		
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○			
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号				
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○			
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○	○		○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。

女性活躍応援ファンド（愛称：椿） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。